

## 人権啓発ビデオ上映会

テーマ:子どもの人権

作品:「うみとりくのからだのはなし」  
(アニメ16分)

日 時:2月18日(水)  
午後3時半~

場 所:3階 体育室

ふたごのうみとりくは、そっくりだけど、ぜんぜんちがう。りくはおかあさんになでられるのが好きだけど、うみはなでられるのが苦手。そんな二人といっしょに、みんながそれぞれのからだを大切にするためには、どうしたらよいのか考えるお話です。



職場では、多様な背景を持つ従業員がともに働き、様々な人権課題が存在しています。この作品では、「障がい者」「外国人」「LGBTQ+」「部落差別」「ジェンダー」といった人権課題をテーマにしています。異なる想いや悩みを抱える人々に気づき、相手の声に耳を傾けることの重要性を考えてみませんか。

テーマ: 人権全般

作品:「聴く力

～相手を想う 傾聴コミュニケーション～」(23分)

日 時 2月20日(金)

- ① 午前10時~
- ② 午後 1時~
- ③ 午後 4時~

場 所:1階 視聴覚室



## 地震に関する本の紹介です。地震について学びませんか。

この他にも、総合センターでは様々な本があります。1人2冊2週間まで貸し出しできます。

	<p>「この街に生きる ～阪神大震災 神戸・長田区から～ 牧田清写真集」 牧田 清/著</p>	<p>日本人と在日外国人が共に働き暮らす街。様々な社会的課題を今に残しつつも人々が支え合う街。弱い者を置き去りにしない街。そんな街を心から愛するフォトジャーナリスト牧田清が撮り続ける震災後の長田区。</p>	<p>解放出版社</p>
	<p>「地震・津波防災のひみつ ～東日本大震災を忘れない～」 宮城県教育庁スポーツ健康課/監修 大沼津代志/構成・文 川下 隆/イラスト 工藤 ケン/まんが</p>	<p>宮城県の兄弟ススムとナツキが、両親から震災の経験を初めて詳しく聞き、避難所生活や復興の様子、語り継ぐ活動、震災遺構訪問などを通じて、防災の重要性や家族・地域とのつながりを学んでいく物語です。</p>	<p>宮城県 (株)学研プラス</p>
	<p>「親子で読もう! ドラえもんの地震はなぜ 起こる どう身を守る」 国崎信江/監修・協力 藤子・F・不二雄/キャラクター原作 三谷幸広/まんが</p>	<p>東日本大震災で、子どもも自分で身を守る必要のあることが痛感された。この本は、子どもがひとりでいるとき、あるいは誰かといふときにとっさにどうしたらいいのか、日頃どういうことに気をつけていたらいいのかを、ドラえもんが漫画でわかりやすく教えてくれます。</p>	<p>小学館</p>